

番号	質問(1)\日本人通算番号(一) 参加年次	12 2010年	13 2010年	14 2010年	15 2010年
1	6週間という期間をどう思いますか	2~3ヶ月あっても良い。	適切	妥当	適切。人的ネットワーク構築には、最低1月は必要。
3	研修での講義内容がその後の業務に役立ったという感じはありますか	無かった。世界的な動向・背景は、今後海外機関との折衝の際に役立つかもしれない。	網羅的な講義で、世界の原子力全体を俯瞰する視点が養えた。今後の業務に役立つと感じている。	直接的にはない。視野が広くなり、もの見方が変わったという点で、間接的な効果はある。	直ちに役立つ内容ではない。知見を広める上で非常に有用。今後の業務の中で、いかせるはず。
4	ワーキンググループ活動の方式(進め方など)、内容でその後の業務に役立ったという感じはありますか	外国人との議論の場で無理にでも意見を言う経験を積んだことは、今後の役に立つと思われる。	様々なバックグラウンドを持つ人とのコミュニケーション/議論の経験を積めたため、国際標準化を目指す今後の業務に役立つと考えられる。	MentorやLeader役Fellowがグループ員全員の意見を引き出そうとする姿勢を見て、自分も他人の意見を引き出す進め方が必要と考えるようになった。	海外と日本の討議方法やマナーの違いを学んだ。今後、業務上、海外の方との議論に際しその経験をいかせる。
5	Forum Issueの検討プロセス(やり方、時間、他)は満足でしたか	テーマに対する議論よりも、如何にプレゼンテーションするかメインの議論となっていました。	メンバー全員で20時間程度、十分に議論を深めることができたため、満足している。	関心Topicが共通の者同士だったので、有意義な意見交換ができた。Group分けは早くから決まっていたのに着手するのが遅かった。	多様な意見、知識差の中で、提案・議論し、意見を調整して合意を形成する過程が学べて非常に役立った。一方で、時間不足で議論を深めることができなかった。
6	講義後のPlenaryはやり方、時間で改善したい点がありましたか	2時間程かけても良い。前半のように、関連質問を他グループからも発言し、全グループが質問できる時間があると良い。	講義後のQAを無くし、全てPlenaryセッションにするのも一案。	Plenary Sessionで質問できるので、講義直後のQ&Aは不要	講義資料の事前配信がなく、内容フォローが難しい。予習や疑問点整理が事前にできれば、Plenaryがより効果的。Plenaryも時間も不十分なので、講義後にフェローの質問を事務局が集計して、講演者から後日回答をもらえる
7	研修参加前の期待に反した点はどんなものがありましたか	講義が概略的なものが多かった。1週くらいはなんらかの専門に特化した講義が欲しかった。	テクニカルツアー。多くの施設を見学できたことは良いが、1施設あたりの見学が1時間程度で、バス移動が毎日5時間以上というのは非効率的。	重複する講義内容が結構あった。	現在の自分に近い業務、機関で働く参加者が少なかった(ので深い議論ができなかった)。逆に、普段は接点の少ない人と知り合い、意見交換ができた。
8	研修全体が、WNUの目指す「指導者育成」になっていると思う点は?	指導者になったときにこの人脈、経験は役立つと思うが、指導者育成にこの研修が役立つかは疑問である。	IAEA、OECD/NEA等の国際機関やNRC議長等、現役リーダーから直接リーダーシップについて指導していただけたこと。	各国のリーダーから直接話を聞くことが出来た。	多様な背景を持つ参加者との議論、共同作業を通し、各意見を尊重しつつ多様な意見を調整し合意を形成する過程を学んだ。
9	同上、なっていない点は?		特になし	理想とするリーダー像が画一的だった。	特になし。
10	研修内容で、あれが有れば良い、と思う点がありましたか	経営面での苦勞、経験の話が聞きたかった。	ケーススタディー数をもっと増やしても良いと感じた。	講義資料の事前配布。	ネットワークスキルの研修。文化の違いから日本人はこの点が苦手。WNU SIの冒頭にそのやり方を講義や研修で学び、SI中に実践して効果的な人脈作りができると大変
11	研修全体で、あれはあまり意味がないというものはありましたか	FIGに割く時間はもう少し短くて良かった。	特になし	“Nuclear Energy”、“Nuclear English”の事前配布が遅れ、役立たなかった。	Team building preparation。直後のグループ活動グループ員とは十分に知り合える。
12	周囲の同僚に参加を勧めたいと思いますか	是非勧めたい。	人材育成と国際貢献の観点から、継続して参加者を輩出するべき。	はい。	ぜひ。特に、経営企画、国際関連業務に従事、興味ある人。
13	私自身は「研修で大きな益を得るには、原子力の知識、英語力、指導性のうち二つは欲しい、一つでは苦しい」と考えます。この考え方にご意見ありますか(賛成、反対、別意見、何れも歓迎)	知識、指導性は大学院を出て、社会で働いていれば自然と身につく程度でよい。自分のことを話す、グループに無理にでも入っていくといった英語面での度胸が重要。	賛成。夏季研修を通じて、指導性の部分を鍛えることができた。		
14	研修終了後、他のフェローとの往來、連絡の実績はどのくらいありますか	帰国の8月に「戻った」という定型の挨拶を数人と交わした程度。	Facebookで約80名と交信。今冬のANSで、米国NRCから参加のフェローと再会予定。		
15	同上、最近1年でどうですか				
16	その他、研修で感じた点があれば何でもお書きください	目的が指導者育成と漠然としており、内容もフェロー同士の交流がメインと感じる。このため、業務に直接役立つ、あるいは自分が成長したという実感は湧いてこない。指導者育成という目的と講義が一致していないように感じる。	WNUで構築した将来の各国の原子力リーダーとの人脈は一生の財産になることを確信している。		